

「みんなの玉手箱」になった理由

2012年にスタートした「ひがしなり街道玉手箱」は、「東成新道・暗越奈良街道フォーラム」の流れを受け継ぎ、毎年11月のイベントをはじめ、さまざまな取り組みを地域のみなさんや東成区役所と協働して行ってきました。これから玉手箱が地域に根ざし、さらに発展していくために、運営をもっとシンプルにするべきではないかと考え、今年から新たにリニューアルしました。

「みんなの玉手箱」がめざすもの

東成区で生まれた玉手箱が、区や市を超えて、街道のように他の地域へと広がり、この先の未来へ続いていくようにという願いを込めて、名称を「みんなの玉手箱」に改めました。この名称には、誰でも気軽に関わってほしいという思いもあります。運営は事務局体制をやめ、これまで関わったメンバーが有志で集まり、場づくりや声かけを行うことになりました。

みんなの玉手箱の「文活」に参加するには

みんなの玉手箱の「文活」には、参加条件はありません。となりの文化を大切にする**3つのお約束**に賛同していただける方は、誰でも参加できます。今年は11月3日に地域で開催されているイベントや、ホームページからエントリーされた企業や団体主催の文化活動をご紹介します。「文活」の目印は、みん玉テーマカラーのオレンジ。今年「文活」にエントリーされている方はぜひ、オレンジ色の小物(ハンカチでもTシャツでもOK)を掲げてください!



みんなの玉手箱
ホームページ

「みんなの玉手箱」3つのお約束

- ① まずは、自分が楽しめるかどうかを最優先で考えます!
- ② ただし、となりの人が嫌がることは絶対にしません!
- ③ そして、みんなの意見も聞いて、みんなの文化を大切にします!

「みんなの玉手箱」への思い

～運営仕掛け人の5名より～



共同代表
伊藤寿佳子
Suyoko Ito

全国で自主上映が後を絶たないドキュメンタリー映画「みんなの学校」。その中で、特別支援を必要とされる子供達も教室でみんなと学び、不登校児0と言う小学校を実現した初代校長の木村泰子さんの生まれ育った街がここ東成区。「文句は、意見にして出す」。玉手箱で全国の未来を楽しく変えていきたい!!



共同代表
藤田ツキト
Tsukito Fujita

全国どこでも、大なり小なり、みんなの文化を紹介しつつ、お互いがみんなの文化に共感できなくても、認め合う社会になれば、ひとりひとりが生きていくヒントになると信じています。あれもダメ、これもダメな社会ではなく、あれもこれもどうやったら実現するかを考えられる玉手箱でありたい。



共同副代表
寛子
Satoko

目標は壮大ですが、自由度の高い玉手箱になったので、何かやってみたく方もチョットでも気になる方も、とにかく「みんなの相談所」に来てみてください!



共同副代表
金輪際セメ子
Semeko Konrinzai

「みんな違って、みんないい」までいかなくても、自分や身内以外のまわりの人の好きなもの、大切なものを、玉手箱を通じてお互い知ることができたらと思っています。



アドバイザー
金谷 一郎
Ichiro Kanatani

東成新道・暗越奈良街道フォーラム(2007～)からの流れを踏まえ、街道だけではなく、東成だけでもなく、みんなの思いを叶える素敵なプレゼントである玉手箱となればと思っています。

毎月2回、仕掛けの相談。

みんなの相談所

毎月、第2・第4火曜に開催!



参加費無料・申込み不要・
会場定員30名(お気軽にお越しください)

会場 | 新☆樂山
大阪市東成区東中本3-9-19

2018年6月
から毎月開催
してきました

今年は11月3日のあとも4回開催!

11/13
10:30~11:30

11/27
18:30~19:30

12/11
10:30~11:30

12/25
18:30~19:30

第2火曜 | 10:30~11:30 (11:30~13:00は飲食実費で自由参加)
第4火曜 | 18:30~19:30 (19:30~21:00は飲食実費で自由参加)